



2020年11月12日

各 位

会社名 トーヨーカネツ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 柳川 徹  
(コード番号 6369 東証 第一部)  
問合せ先 取締役常務執行役員コーポレート本部長 渡邊 一人  
(TEL. 03-5857-3333)

### 中期経営計画の修正に関するお知らせ

当社は、2019年5月14日付で公表したグループ中期経営計画(2019~2021年度)について、計画の進捗状況及び事業環境の変化を踏まえて、2021年度(2022年3月期)の中期経営目標を下記の通り修正することを本日開催の取締役会において決議しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 中期経営目標の修正

【2022年3月期 連結業績目標】 (百万円)

	当初目標	修正目標	増減
売上高	54,300	46,000	△ 8,300
営業利益	3,950	2,100	△ 1,850
ROE	8.0%	5.0%	△3.0pt

【2022年3月期 事業別業績目標】 (百万円)

		当初目標	修正目標	増減
物流ソリューション事業	売上高	28,000	28,000	0
	営業利益	3,000	2,600	△ 400
機械・プラント事業	売上高	15,500	9,100	△ 6,400
	営業利益	300	△ 400	△ 700
その他事業・新規事業	売上高	11,000	8,000	△ 3,000
	営業利益	1,350	800	△ 550

#### 2. 修正理由

新型コロナウイルス感染拡大の影響によりグループ中期経営計画(2019~2021年度)の前提となる事業環境に大きな変化が生じたことで、業績の下振れを回避することは現時点で困難であると判断し、上記の通り業績目標を修正いたしました。

物流ソリューション事業では、採算性を維持しながら、生活様式の変化を受けた EC 市場の拡大に伴う物流倉庫の自動化・機械化ニーズに対応し、更なる成長機会を捉えてまいります。

機械・プラント事業では、海外の新設プロジェクトの遅延・中止に伴い短期的に収益が見込めない状況下、適正規模に組織を縮小し、メンテナンス分野に注力いたします。

新規事業関連においては、当面変化の予想が困難な市場環境を考慮して、不確実な新規事業による収益目

標値を除外しております。

なお、本中計期間中の株主還元方針の変更はございません。また、2019年5月14日に公表しましたグループ中期経営目標をKPIとした当社の「役員に対する業績連動株式報酬制度」につきましても、当初の中期経営目標に基づき算定してまいります。

以 上

(注)本資料に記載されている将来の業績等については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。